

幸手市立長倉小学校 学力保障グランドデザイン



学校教育目標

たくましい子

すすんで勉強する子（知）

心豊かで思いやりのある子（徳）

健康でねばり強い子（体）

学校研修課題



言語活動を楽しみながら実生活で生きて働く「読解力」の育成
～言葉や文章の意味を正確に理解、熟考し、伝え合う力を高める授業を通して（2年次）～

本年度の重点



学力向上

・非認知能力の育成・授業の充実・心の教育の充実
学校の見える化に努める

目標達成の指針



- 1 教職員全員でかかわる教育相談体制の整備
- 2 不登校傾向ゼロの学校
- 3 家庭学習実施率の向上

みんなが集まり 笑顔になる 長倉小学校

学校の共通行動



生徒指導・教育相談の充実

- ・相談者の伴走者となり、寄り添い、見届ける学校となる。
- ・原因や背景をとらえた指導や助言をする。

学年・学級経営の充実

- ・児童理解を基本とし、きめ細かい丁寧な指導を行う。
- ・機を見逃さない指導、保護者との協力を築き、課題解決に全力を尽くす。

安全教育防災教育の充実

- ・交通事故ゼロを目指し、交通安全を徹底する。
- ・災害時に落ち着いて行動できる児童を育成する。

地域連携の充実

- ・地域の教育力について、情報収集し、活用する。
- ・地域と連携する活動を推進する。

授業外での取組



学校マナーアップの推進

- ・あいさつ・無言清掃・静かな廊下歩行・電話対応のやさしさ強化
- ・さわやかなあいさつが交わされる、きれいで、落ち着いた学校

食育・健康教育の推進

- ・丁寧なアレルギー対応の推進
- ・積極的な食育授業の実践
- ・教育活動全体での健康教育推進
- ・けがのない学校生活を目指す。

故郷を愛する環境美化活動の推進

- ・地域の自然を大切にする授業プランニング
- ・美しい教室を創る。

確かな授業実践



学習指導の充実

- ・ICT機器を活用し、指導方法を工夫、改善する。
- ・基礎・基本を徹底して教得るとともに考える場面とアウトプットする場面を創る。

特別支援教育の充実

- ・個別の支援プランを作成し、通常学級における支援を充実する。
- ・共通理解を図るための研修を充実する。

目指す児童像にせまる授業実践

- ・国語科を中心とした実践的な研究の推進
- ・研究授業を通し、切磋琢磨しともに成長する実践的な校内研修を推進する。

個別最適化な学びの日常化

- ・わかる授業の実践
- ・家庭学習の充実

家庭・学校間連携



保幼小中高大の連携

- ・地域性を生かした異校種連携を実施し、相互に教育効果を高める。
- ・異校種連携を踏まえたカリキュラムマネジメントの実施

家庭学習の充実

- ・家庭学習について研究し、個別最適化な学びを推進する。
- ・家庭との連携が強化できる取組を創造し、より良い連携体制で家庭学習の充実を図る。

情報発信による連携強化

- ・情報発信ツールを多様化し、情報が家庭に確実に届くようにする。
- ・地域の情報ステーションとなる学校となるよう、地域に学校を開放していく。